

平成 25 年度

事業報告書

平成 25 年 4 月 1 日から
平成 26 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

平成 25 年度 事 業 報 告 書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

1. 運営の部

- (1) 第 37 回通常理事会 平成 25 年 5 月 25 日 (土) 於 上野精養軒
- 第 37 回通常総会 平成 25 年 5 月 25 日 (土) 於 上野精養軒
- (2) 第 38 回通常理事会 平成 26 年 3 月 1 日 (土) 於 上野精養軒
- (3) 青少年オーケストラ委員会の開催
- 役員会 平成 26 年 3 月 28 日 (金) 於 上野学園大学会議室
- 総会 平成 26 年 3 月 29 日 (土) 於 上野学園大学会議室

2. 事業の部

- (1) 第 41 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル豊橋大会
- 平成 25 年 9 月 21 日 (土) ~ 23 日 (月・祝) 於 アイプラザ豊橋
- (2) 高円宮殿下メモリアル第 14 回日本マスターズオーケストラキャンプ
- 平成 26 年 1 月 11 日 (土) ~ 13 日 (月・祝) 於 京都府民ホール「アルティ」
- (3) 第 30 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ
- 平成 26 年 3 月 27 日 (木) ~ 30 日 (日) 於 上野学園大学
- ※3 月 30 日 (日)「日本青少年交響楽団特別演奏会」 於 サントリーホール
- (4) トヨタ自動車㈱との提携によるトヨタコミュニティコンサートの実施
- (5) JAO のホームページを活用した広報活動事業
- (6) 文化庁主催 第 28 回国民文化祭・やまなし 2013 への参加
- 平成 25 年 1 月 12 日 (土) ~ 11 月 10 日 (日)
- オーケストラの祭典=11 月 3 日 (日)・4 日 (月・祝) 於 コラニー文化ホール
- (7) 国際交流事業
- ①ドイツアマチュアオーケストラ連盟 (BDLO) との連携
- ・「オーケストラのためのワークショップ」へ日本から 10 名が参加
- 平成 25 年 5 月 17 日 (金) ~ 21 日 (火)
- 於 ドイツ連邦共和国バイエルン州ハンメルブルク
- ・「第 41 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル豊橋大会」へドイツからの参加者 10 名受け入れ
- ②認定 NPO 法人世界アマチュアオーケストラ連盟 (NPO-WFAO) との連携
- ・「第 41 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル豊橋大会」期間中に同会場
で世界アマチュアオーケストラ連盟 (WFAO) 理事会開催
- ・「第 30 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ」へ台湾・韓国・シンガポールから
10 名が参加

以上

平成 25 年度事業報告書

付 属 明 細 書

I. 運営の部

1. 各種会議及びその決定事項

開催年月日	会議名	項 目
平成 25 年 5 月 25 日	第 37 回通常理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 24 年度事業報告案並びに収支決算案を理事会承認、総会へ付議 2. 新入会員として「やまなしジュニアオーケストラ」を理事長が承認した旨を報告 3. 各種事業に関して担当理事より報告
平成 25 年 5 月 25 日	第 37 回通常総会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 24 年度事業報告案並びに収支決算案の承認 2. 新入会員として「やまなしジュニアオーケストラ」を理事長が承認した旨を報告 3. 各種事業に関して担当理事より報告
平成 26 年 3 月 1 日	第 38 回通常理事会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 25 年度補正予算案を承認 2. 平成 26 年度事業計画並びに予算案を承認 3. 第 45 回全国フェスティパルの開催地承認 「刈谷市民管弦楽団」の主管により平成 29 年愛知県刈谷市にて 4. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 5. 平成 26 年度からの新入会員として「愛知祝祭管弦楽団」を理事長が承認した旨を報告 6. 各種事業に関して担当理事より報告
平成 26 年 3 月 29 日	青少年オーケストラ委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 常任委員の改選 2. 第 31 回キャンプ（沖縄開催）の実施案の検討

2. 社員の異動について

社員種別	員 数		増 減 数	備 考
	平成 26 年 3 月 31 日現在	平成 25 年 3 月 31 日現在		
正会員	140	136	4 会員増	増 5 減 1

会員数はこの 10 年の減少傾向が続いていたが、平成 25 年度は 4 会員の増加となった。内訳は新規会員が 5 団体、退会が 1 団体。退会会員はオーケストラ活動の休止が退会理由であるとのこと。法人の管理運営費用を会費収入に依存している本連盟にとっては、会員の維持・獲得を今後も最重点課題として取り組んでいきたい。但し、期中に平成 26 年度から加盟する団体の申込みを 1 団体受け付けている。

II. 事業の部

1. 全国フェスティバルの開催

平成 25 年度の全国フェスティバルの開催概要は次のとおり。

名 称：第 41 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル豊橋大会

期 間：平成 25 年 9 月 21 日（土）～23 日（月・祝）

23 日に「フェスティバルコンサート」を開催

会 場：「アイプラザ豊橋」 愛知県豊橋市草間町字東山 143-6

研修曲目等：

フェスティバル社会人オーケストラ A：ベルリオーズ／交響曲「イタリアのハロルド」

フェスティバル社会人オーケストラ B：ベルリオーズ／「幻想交響曲」

指揮者：現田茂夫

副指揮者：米崎榮和

ソリスト：井野邊大輔（ヴィオラ・フェスティバル社会人オーケストラ A）

ゲストコンサートマスター：三浦章宏（フェスティバル社会人オーケストラ A）

ゲストコンサートマスター：森田昌弘（フェスティバル社会人オーケストラ B）

※フェスティバルコンサートでは歓迎演奏として、豊橋ユースオーケストラが

リムスキー＝コルサコフ：交響組曲「シェヘラザード」より第 2 楽章を演奏

（指揮：下谷剛嗣）

参加者総数：379 名（内、公募による参加者 26 名、ドイツ人参加者 10 名）

コンサート入場者：1,320 名

「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」は毎年全国各地を巡り開催する本連盟の主要事業だが、平成 25 年度は第 41 回フェスティバルを、愛知県豊橋市にて開催した。

豊橋市は JAO 発祥の地であり、同市での開催は、本連盟発足の翌年昭和 48 年に第 1 回フェスティバル、その後昭和 60 年の第 13 回フェスティバルに続いての 3 回目の開催となった。

第 41 回豊橋大会は全国 78 団体、及び公募による一般参加者、提携先のドイツアマチュアオーケストラ連盟 (BDLO) より総勢 379 名の参加者を得て盛大に開催された。2 日間の楽曲研修の後、最終日にフェスティバルコンサートを開催。会場はほぼ満席となり大変盛況な演奏会となった。

22 日より本連盟総裁 高円宮妃殿下のご来臨を仰ぎ、JAO 主催のレセプションにおいて参加者への励ましのお言葉を賜ったほか、23 日のフェスティバルコンサートをご鑑賞いただいた。

2. マスターズオーケストラキャンプの開催

平成 25 年度のマスターズオーケストラキャンプの概要は次のとおり。

名 称：高円宮殿下メモリアル第 14 回日本マスターズオーケストラキャンプ

期 間：平成 26 年 1 月 11 日（土）～ 13 日（月・祝）

13 日に「公開リハーサル」を開催

会 場：京都市 京都府立府民ホール「アルティ」

研修曲目：ベートーヴェン／「大フーガ」変ロ長調

ブリッジ／「ロンドンデリー・エアー」

ブリテン／「シンプル・シンフォニー」より第 3 楽章

講 師：大山平一郎、金子鈴太郎

参加者：58 名

公開リハーサル入場者：90 名

本キャンプの前途に大きな期待を抱かれていた前 JAO 総裁 故 高円宮殿下のご意志を尊重し、名称に「高円宮殿下メモリアル」を冠した日本マスターズオーケストラキャンプ (MOC) は、当初は主にシニア層の弦楽器奏者を対象としていたが、第 12 回より年齢による制限をはずし、各オーケストラの現リーダーや、次世代を担うリーダーを養成することもキャンプの重要な役割とし今日に至っている。

第 14 回となる平成 25 年度の MOC は、講師として、アメリカでヴィオラ奏者、室内楽奏者、音楽監督・指揮者として卓越した才能が高く評価されている大山平一郎氏と、チェリストの金子鈴太郎氏を迎え、前年度に続き京都市にて開催した。

大山先生は、音楽を通じた対話により音楽を究めようとする「ミュージック・ダイアログ」を提唱されているが、本キャンプ中の様々な機会に参加者との手法を活用した取り組みが実践されたほか、最終日の「公開リハーサル」においても来場者とのダイアログが図られ、参加者・来場者共々弦楽合奏の音造りの醍醐味を体験した MOC となった。

3. 青少年オーケストラキャンプの開催

名 称：第 30 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ
期 間：平成 26 年 3 月 27 日（木）～30 日（日）
30 日に「日本青少年交響楽団特別演奏会」を開催
会 場：東京都台東区 上野学園大学
「日本青少年交響楽団特別演奏会」はサントリーホールにて開催
研修曲目：サン＝サーンス／交響曲第 3 番「オルガン付き」
ショスタコーヴィチ／ヴァイオリン協奏曲第 1 番
レスピーギ／交響詩「ローマの松」
指揮者：広上淳一
独奏者：三浦文彰（ヴァイオリン）、池谷瑞季（オルガン）
講師：楽器毎に 1～2 名、計 17 名のプロ奏者
参加者：169 名（内、海外参加者 3 カ国 10 名）
コンサート入場者：1,550 名

青少年オーケストラキャンプは 2 年を 1 期とし、2 年目には特別演奏会を開催し成果を発表する。平成 25 年度は第 13 期の 2 年目にあたり、研修は上野学園大学を会場とし、最終日の「日本青少年交響楽団特別演奏会」は第 30 回を記念するキャンプとして、日本を代表する音楽ホールである「サントリーホール」にて開催した。

「日本青少年交響楽団特別演奏会」当日はあいにくの荒天となり、入場者数が懸念されたが、開演までに 1,500 名を超える入場者を数え、終演時には青少年の熱演に対し万雷の拍手が送られた。

本キャンプは認定 NPO 法人世界アマチュアオーケストラ連盟の協力を得て第 25 回より海外からの参加者を受け入れているが、今回も台湾・韓国・シンガポールから 10 名の参加者を受け入れ、青少年同士の国際交流の機会を提供した。

また、本キャンプ 3 日目の 29 日には「青少年オーケストラ委員会」が開催され、平成 26 年度のキャンプの企画について話し合いが行われた。

4. 広報活動事業

- ・「トヨタコミュニティコンサート」の実施支援

「トヨタコミュニティコンサート」は『音楽を通じて地域文化の振興に貢献すること』を目的に、トヨタ自動車㈱並びに各地域のトヨタ販売会社グループと連携し、JAO 加盟のオーケストラの公演を支援して開催される演奏会。公演回数は平成 25 年度末で 1459 回を数え、入場者数は延べ 117 万人を超えている。

平成 25 年度は、大雪のため開催不能となった山梨交響楽団の山梨県早川町における A2 方式の公演を除き、24 都道府県で 43 公演、その内訳は A1 方式 1 回、A2 方式 7 回、B 方式 35 回の合計 43 回のコンサートが開催され、本連盟が実施支援を行った。

以上

貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

平成20年度公益法人会計基準を当該事業年度より適用しているため、前年度欄の記載はしていません。

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	1,235,242		
未収金	14,252,667		
前払金	0		
流動資産合計	15,487,909		
固定資産			
基本財産			
基本財産積立預金	44,400,000		
基本財産合計	44,400,000		
その他の固定資産			
什器備品	9		
敷金	617,924		
その他の固定資産合計	617,933		
固定資産合計	45,017,933		
資産合計	60,505,842		
II 負債の部			
流動負債			
未払金	7,023,868		
預り金	212,463		
流動負債合計	7,236,331		
負債合計	7,236,331		
III 正味財産の部			
指定正味財産	44,400,000		
(うち基本財産への充当額)	(44,400,000)		
(うち特定資産への充当額)	(0)		
一般正味財産	8,869,511		
(うち基本財産への充当額)	(0)		
(うち特定資産への充当額)	(0)		
正味財産合計	53,269,511		
負債及び正味財産合計	60,505,842		

平成25年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

正味財産増減計算書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

平成20年度公益法人会計基準を当該事業年度より適用しているため、前年度欄の記載はしていません。

(単価：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	(16,748)			
基本財産受取利息	16,748			定期預金利息
② 受取入会金	(120,000)			
受取入会金	120,000			4団体
③ 受取会費	(9,050,000)			
正会員受取会費	6,950,000			139会員
賛助会員受取会費	2,100,000			25会員
④ 事業収益	(14,611,041)			
公1事業収益	14,611,041			入場料・参加料・広告料等
⑤ 受取補助金等	(27,812,114)			
受取地方公共団体補助金	2,000,000			愛知県、豊橋市
受取民間助成金	25,812,114			トヨタ自動車、ガクスタグサース 他
⑥ 雑収益	(203,432)			
受取利息	1,932			
雑収益	201,500			懇親会費 他
経常収益計	51,813,335			
(2) 経常費用				
① 事業費	(46,732,491)			
役員報酬	2,880,000			
給料手当	2,786,502			
臨時雇用賃金	956,560			
福利厚生費	5,396,444			
会議費	767,049			
旅費交通費	12,780,043			
通信運搬費	1,656,705			
減価償却費	2			
消耗品費	1,155,095			
印刷製本費	927,856			
光熱水料費	163,255			
賃借料	7,775,486			
保険料	52,221			
諸謝金	8,065,301			
広報費	176,400			
雑費	1,193,572			

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
② 管理費	(5,153,615)			
役員報酬	720,000			
給料手当	811,358			
会議費	624,914			
旅費交通費	1,067,365			
通信運搬費	307,368			
減価償却費	1			
消耗品費	26,654			
印刷製本費	249,900			2013年度版JAO関係資料
光熱水料費	48,765			
賃借料	594,160			
保険料	37,765			労働保険料
租税公課	111,500			
雑費	553,865			
経常費用計	51,886,106			
当期経常増減額	▲72,771			
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0			
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	(0)			
什器備品廃棄損	0			
経常外費用計	0			
当期経常外増減額	0			
当期一般正味財産増減額	▲72,771			
一般正味財産期首残高	8,942,282			
一般正味財産期末残高	8,869,511			
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0			
指定正味財産期首残高	44,400,000			
指定正味財産期末残高	44,400,000			
III 正味財産期末残高	53,269,511			

平成25年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

正味財産増減計算書 内訳表

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単価：円)

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(16,748)	(0)	(16,748)
基本財産受取利息	16,748	0	16,748
② 受取入会金	(0)	(120,000)	(120,000)
受取入会金		120,000	120,000
③ 受取会費	(0)	(9,050,000)	(9,050,000)
正会員受取会費		6,950,000	6,950,000
賛助会員受取会費		2,100,000	2,100,000
④ 事業収益	(14,611,041)	(0)	(14,611,041)
事業収益	14,611,041		14,611,041
⑤ 受取補助金等	(27,812,114)	(0)	(27,812,114)
受取地方公共団体補助金	2,000,000		2,000,000
受取民間助成金	25,812,114		25,812,114
⑥ 雑収益	(1,732)	(201,700)	(203,432)
受取利息	232	1,700	1,932
雑収益	1,500	200,000	201,500
経常収益計	42,441,635	9,371,700	51,813,335
(2) 経常費用			
① 事業費	(46,732,491)		(46,732,491)
役員報酬	2,880,000		2,880,000
給料手当	2,786,502		2,786,502
臨時雇用賃金	956,560		956,560
福利厚生費	5,396,444		5,396,444
会議費	767,049		767,049
旅費交通費	12,780,043		12,780,043
通信運搬費	1,656,705		1,656,705
減価償却費	2		2
消耗品費	1,155,095		1,155,095
印刷製本費	927,856		927,856
光熱水料費	163,255		163,255
賃借料	7,775,486		7,775,486
保険料	52,221		52,221
諸謝金	8,065,301		8,065,301
広報費	176,400		176,400
雑費	1,193,572		1,193,572
② 管理費		(5,153,615)	(5,153,615)
役員報酬		720,000	720,000
給料手当		811,358	811,358
会議費		624,914	624,914
旅費交通費		1,067,365	1,067,365
通信運搬費		307,368	307,368
減価償却費		1	1
消耗品費		26,654	26,654
印刷製本費		249,900	249,900
光熱水料費		48,765	48,765

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
賃借料		594,160	594,160
保険料		37,765	37,765
租税公課		111,500	111,500
雑費		553,865	553,865
経常費用計	46,732,491	5,153,615	51,886,106
当期経常増減額	▲4,290,856	4,218,085	▲72,771
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	(0)	(0)	(0)
什器備品廃棄損			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	3,500,000	▲3,500,000	
当期一般正味財産増減額	▲790,856	718,085	▲72,771
一般正味財産期首残高	2,973,114	5,969,168	8,942,282
一般正味財産期末残高	2,182,258	6,687,253	8,869,511
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	44,400,000	0	44,400,000
指定正味財産期末残高	44,400,000	0	44,400,000
III 正味財産期末残高	46,582,258	6,687,253	53,269,511

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

有形固定資産は、定額法により償却する。ただし、取得した翌年度より償却を開始する。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、未収金、前払金、未払金及び預り金を含めている。

ただし、特定目的預金については資金の範囲から除外している。なお、前期末及び当期末残高は下記4に記載する通りである。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式を採用している。

2. 基本財産の増減及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	44,400,000	0	0	44,400,000
合 計	44,400,000	0	0	44,400,000

3. 基本財産の内訳は、次の通りである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
定期預金	44,400,000	(44,400,000)	(0)	(0)
合 計	44,400,000	(44,400,000)	(0)	(0)

4. 次期繰越収支差額(資金)の内容は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現金預金	6,348,587	1,235,242
未 収 金	5,168,717	14,252,667
前 払 金	510,000	0
合 計	12,027,304	15,487,909
未 払 金	3,262,029	7,023,868
預 り 金	440,929	212,463
合 計	3,702,958	7,236,331
次期繰越収支差額	8,324,958	8,251,578

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
什器備品	4,301,862	4,301,853	9
合 計	4,301,862	4,301,853	9

財 産 目 録

(平成26年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
(1) 現金預金			
現金手元有高	10,302		
普通預金 三菱東京UFJ銀行	253,436		
普通預金 十六銀行	161,858		
普通預金 三井住友銀行	375,073		
普通預金 静岡銀行	380,635		
普通預金 みずほ銀行	53,938		
現金預金合計	1,235,242		
(2) 未収金 第30回TYOC協賛金他	14,252,667		
(3) 前払金	0		
流動資産合計		15,487,909	
2 固定資産			
(1) 基本財産積立預金			
定期預金 三菱東京UFJ銀行	10,000,000		
定期預金 十六銀行	10,000,000		
定期預金 三井住友銀行	10,000,000		
定期預金 静岡銀行	10,000,000		
定期預金 みずほ銀行	4,400,000		
基本財産合計	44,400,000		
(2) その他の固定資産			
什器備品 保管庫・机・椅子等	9		
敷金 光陽ビル敷金	617,924		
その他の固定資産合計	617,933		
固定資産合計		45,017,933	
資産合計			60,505,842
II 負債の部			
1 流動負債			
(1) 未払金 第30回TYOC経費			
	7,023,868		
(2) 預り金 源泉所得税			
	212,463		
流動負債合計		7,236,331	
負債合計			7,236,331
正味財産			53,269,511